



平成 25 年 2 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 25 年 1 月 10 日

上場会社名 ディップ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2379

URL <http://www.dip-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 富田 英揮

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員常務 管理本部長 (氏名) 鈴木 秀和 (TEL) 03(5114)1177

四半期報告書提出予定日 平成 25 年 1 月 11 日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・ 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・ 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 2 月期第 3 四半期の業績 (平成 24 年 3 月 1 日～平成 24 年 11 月 30 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 2 月期第 3 四半期	6,873	△17.8	62	△82.0	45	△85.7	△39	—
24 年 2 月期第 3 四半期	8,362	22.5	347	—	317	—	173	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25 年 2 月期第 3 四半期	△3.58	—
24 年 2 月期第 3 四半期	15.20	15.20

平成24年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25 年 2 月期第 3 四半期	5,771	3,357	58.2
24 年 2 月期	6,968	3,611	51.8

(参考) 自己資本 25 年 2 月期第 3 四半期 3,357 百万円 24 年 2 月期 3,611 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24 年 2 月期	—	0.00	—	800.00	800.00
25 年 2 月期	—	0.00	—	—	—
25 年 2 月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・ 無

平成24年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、平成25年2月期(予想)の年間配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成 25 年 2 月期の業績予想 (平成 24 年 3 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	10,000	△12.5	400	△50.2	380	△50.2	200	△47.2	18.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・ 無

平成24年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、平成25年2月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております(当該株式分割が期首に行われたと仮定して算出)。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
 ④ 修正再表示 : 有・無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期3Q	12,362,000株	24年2月期	12,362,000株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	1,326,700株	24年2月期	943,100株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期3Q	11,125,639株	24年2月期3Q	11,418,900株

(注) 平成24年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、上記の発行済株式数(普通株式)につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定してそれぞれ算定しております。

なお、自己株式につきましては、当四半期累計期間末に株式付与ESOP信託口が所有する383,600株を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(その他特記事項)

当社は平成24年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(3) 追加情報	5
3. 四半期財務諸表	7
(1) 四半期貸借対照表	7
(2) 四半期損益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済情勢は、東日本大震災後の復興需要等により、緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、世界経済の減速を背景に企業収益や設備投資、個人消費が落ち込み、景気が後退局面に入っているという見方が強まってまいりました。

国内の雇用情勢につきましては、回復傾向が続いていたものの、平成24年9月より有効求人倍率が3年2ヶ月ぶりに前月を下回る等、改善の動きに足踏みが見られております。

このような環境のなか、主要サイトの「バイトルドットコム」、「はたらこねっと」等の求人広告サイトを運営するメディア事業につきましては、サイト開設10周年を迎えた「バイトルドットコム」におきまして、大規模なリニューアルを実施し、さらなる利便性を追求してまいりました。

「ナースではたらこ」を運営するエージェント事業におきましては、看護師の転職相談を受けるキャリアアドバイザーを増員し体制を強化するとともに、ミスマッチの少ない転職を支援するために無料転職相談窓口を全国主要都市5ヶ所に開設し、看護師の満足度及び入職決定率の向上に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は68億73百万円(前年同四半期比17.8%減)となりました。

一方、平成25年2月期より「バイトルドットコム」における地方提携会社との契約形態を見直し、従来の総額方式の契約から、手数料方式の契約へ変更するとともに、「ナースではたらこ」におきましても、従来は入職合意時に計上していた売上を、利用規約及び業務運用の見直しを行った結果、当期より入職時に計上することといたしました。

これらによる売上高の減収影響は16億24百万円となります。

営業利益につきましては、売上高の減収影響を受けるものの、経費の効果的使用に努めた結果、62百万円(前年同四半期比82.0%減)となり、経常利益は45百万円(前年同四半期比85.7%減)となりました。また、当期より営業拠点を新たに開設し営業効率の向上に努めており、平成25年5月において本社事業所の一部を解約することとなりました。これに伴う特別損失を計上したことから、四半期純損失は39百万円(前年同四半期は四半期純利益1億73百万円)となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

当社はこれまでセグメント区分を「バイトルドットコム」「はたらこねっと」「ナースではたらこ」「ジョブエンジン」「その他」としておりましたが、第1四半期累計期間からの組織変更に伴い、従来「バイトルドットコム」「はたらこねっと」「ジョブエンジン」「その他」としていた区分を「メディア事業」に統合し、「ナースではたらこ」を「エージェント事業」に変更しております。

前年同四半期比の金額及び比率については、前第3四半期累計期間のセグメント区分を当第3四半期累計期間において用いたセグメント区分に組替えて算出しております。

①メディア事業

メディア事業におきましては、求人広告事業である「バイトルドットコム」、「はたらこねっと」、「ジョブエンジン」及び「その他」事業を運営しております。

「バイトルドットコム」におきましては、サイト開設10周年を迎えPC・スマートフォンサイトを全

面リニューアルいたしました。サイトデザインを一新し、職種細分化をはじめとした機能改善を実施するとともにSEO（検索エンジン最適化）対策を強化し、さらなる利便性を追求してまいりました。

「はたらこねっと」におきましては、PC版検索結果に直接雇用（正社員、契約社員、パート・アルバイト等）の仕事情報を初期表示することにより、ワンストップでの仕事探しを実現し、ユーザーの利便性向上に努めてまいりました。

「ジョブエンジン」におきましては、引き続き経営資源を他のサービスへ振り向けることに伴い、最小限のリソースで効率的な事業運営に取り組んでおります。

その他、主に「バイトルドットコム」の飲食店顧客向けサービスを展開いたしました。

同事業におきましては、当期首より新たな事業所を設置し小規模顧客への販売強化に注力し、同領域においては順調に推移している一方、大手顧客領域においては同業他社との競争及び求人ニーズの低下の影響を受けております。これにより、当セグメントにおける売上高は58億87百万円（前年同四半期比19.9%減）、セグメント利益は14億88百万円（前年同四半期比7.8%減）となりました。「バイトルドットコム」における地方提携会社との契約形態の見直しに伴う売上高の減収影響は11億47百万円となりました。

各サイトの売上高は、次のとおりであります。

「バイトルドットコム」	49億18百万円
「はたらこねっと」	8億18百万円
「ジョブエンジン」	1億42百万円
「その他」	7百万円

②エージェント事業

エージェント事業におきましては、「ナースではたらこ」サイトへご登録いただいた、転職を希望される看護師の方へ医療機関を紹介する人材紹介事業を運営しております。

当第3四半期累計期間において、無料転職相談窓口『ナース・キャリア・ステーション』を全国主要都市5ヶ所へ開設し、キャリアアドバイザーが転職を希望される看護師の方と直接対面し、転職先の選び方や履歴書の書き方、面接対策等をサポートすることで、ミスマッチの少ない転職を支援し看護師の満足度及び入職決定率の向上に取り組んでまいりました。また、『キャリアアップ支援金』キャンペーンとして、当社サービスを通して採用が決定された看護師の方へ、医療機関からの成功報酬の一部を支給することで登録者の拡大に努めてまいりました。

同事業におきましては、上記施策に伴う登録者数の増加に対応するため、看護師からの転職相談に対応するキャリアアドバイザーを増員し、決定者数の拡大に努めてまいりました。しかしながら、従来は入職合意時に計上していた売上を当期より入職時に計上へと変更したことにより、想定以上に第4四半期会計期間以降の入職決定者が出た影響を受けております。

これにより、当セグメントにおける売上高は9億86百万円（前年同四半期比2.6%減）、セグメント損失は4億69百万円（前年同四半期はセグメント損失2億1百万円）となりました。また、利用規約の変更に伴う売上高の減収影響は4億77百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期累計期間末における資産は、前事業年度末と比較し11億96百万円減少し、57億71百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少3億43百万円、売掛金の減少10億45百万円及び無形固定資産の増加1億64百万円によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末と比較し9億42百万円減少し、24億13百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少76百万円、未払法人税等の減少3億29百万円及び長期借入金の減少4億26百万円によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末と比較し2億54百万円減少し、33億57百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少1億31百万円及び自己株式の増加1億22百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年9月21日に修正公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「1株当たり当期純利益に関する会計基準」等の適用

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

この適用により、当第3四半期会計期間に行った株式分割は、前事業年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額ならびに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、以下のとおりです。

1株当たり四半期純利益金額 1,520円34銭

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 1,520円28銭

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(売上高の一部について総額表示から純額表示への変更)

従来、地方提携会社との一部の取引にかかる収益及び費用は、総額で表示(売上高、売上原価、販売費及び一般管理費に計上)していましたが、契約内容を変更したことに伴い、純額での表示(従来の売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を差し引いた部分のみを売上高に計上)に変更いたしました。

この変更により従来の会計処理方法によった場合に比べ、当第3四半期累計期間の売上高が1,147,031千円減少、売上総利益が781,960千円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税引前四半期純損失への影響はありません。

(ナースではたらこの売上計上基準の見直し)

ナースではたらこの人材紹介手数料については、従来入職合意時に売上計上していましたが、医療機関に対する人材紹介サービスの事業拡大に伴い求められる業務内容が変化し、利用規約及び業務運用の見直しを行った結果、当事業年度より入職時に売上計上することといたしました。

上記の結果、売上高、営業利益及び経常利益が477,104千円減少、税引前四半期純損失が477,104千円増加しております。

(株式付与E S O P信託制度に関する会計処理方法)

当社は平成24年4月12日開催の取締役会において、当社従業員の労働意欲・経営参画意識の向上を促すとともに株式価値の向上を目指した経営を一層推進することにより、中長期的な企業価値を高めることを目的とした信託型の従業員インセンティブ・プラン「株式付与E S O P信託」制度を導入いたしました。

この導入に伴い平成24年11月30日までに、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（E S O P信託口）が当社株式383,600株を取得しております。

当該株式付与信託に関する会計処理については、当社とE S O P信託口は一体であるとする会計処理をしており、E S O P信託口が所有する当社株式やE S O P信託口の資産及び負債ならびに費用及び収益については、四半期貸借対照表及び四半期損益計算書に含めて計上しております。このため、自己株式数については、E S O P信託口が所有する当社株式を自己株式数に含めて記載しております。

なお、平成24年11月30日現在においてE S O P信託口が所有する自己株式数は383,600株であります。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,158,538	1,814,769
売掛金	2,094,599	1,049,567
仕掛品	2,580	1,479
貯蔵品	33,941	63,863
その他	343,267	387,645
貸倒引当金	△109,969	△97,292
流動資産合計	4,522,958	3,220,033
固定資産		
有形固定資産	283,930	327,233
無形固定資産		
ソフトウェア	1,358,170	1,673,572
その他	167,993	16,744
無形固定資産合計	1,526,163	1,690,317
投資その他の資産		
その他	504,419	440,824
貸倒引当金	△27,878	△8,555
投資その他の資産合計	476,541	432,268
固定資産合計	2,286,635	2,449,819
繰延資産		
開発費	158,730	101,587
繰延資産合計	158,730	101,587
資産合計	6,968,323	5,771,439
負債の部		
流動負債		
買掛金	199,667	123,398
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	523,800	500,800
未払法人税等	339,718	9,890
返金引当金	50,000	39,788
資産除去債務	—	39,749
その他	758,829	583,817
流動負債合計	2,872,015	2,297,443
固定負債		
長期借入金	446,700	20,600
資産除去債務	36,927	73,964
その他	700	21,624
固定負債合計	484,327	116,188
負債合計	3,356,343	2,413,632

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,081,200	1,081,200
資本剰余金	1,131,709	1,131,709
利益剰余金	1,771,199	1,640,011
自己株式	△372,128	△495,113
株主資本合計	3,611,980	3,357,806
純資産合計	3,611,980	3,357,806
負債純資産合計	6,968,323	5,771,439

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
売上高	8,362,483	6,873,168
売上原価	1,459,412	1,057,897
売上総利益	6,903,071	5,815,270
販売費及び一般管理費	6,555,763	5,752,768
営業利益	347,307	62,502
営業外収益		
受取利息	201	137
貸倒引当金戻入額	—	11,009
消費税等調整額	4,020	—
その他	7,474	5,120
営業外収益合計	11,696	16,267
営業外費用		
支払利息	17,183	12,476
シンジケートローン手数料	23,442	18,560
その他	642	2,333
営業外費用合計	41,269	33,371
経常利益	317,735	45,398
特別損失		
固定資産除却損	2,318	1,277
固定資産売却損	474	—
減損損失	—	47,800
特別損失合計	2,793	49,078
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	314,942	△3,680
法人税、住民税及び事業税	109,967	10,774
法人税等調整額	31,368	25,382
法人税等合計	141,336	36,156
四半期純利益又は四半期純損失(△)	173,605	△39,836

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	四半期損益計算書 計上額(注) 2
	メディア事業	エージェント事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	7,350,272	1,012,211	8,362,483	—	8,362,483
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	7,350,272	1,012,211	8,362,483	—	8,362,483
セグメント利益 又は損失(△)	1,613,903	△201,178	1,412,725	△1,065,417	347,307

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,065,417千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	四半期損益計算書 計上額(注) 2
	メディア事業	エージェント事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	5,887,008	986,159	6,873,168	—	6,873,168
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	5,887,008	986,159	6,873,168	—	6,873,168
セグメント利益 又は損失(△)	1,488,106	△469,692	1,018,414	△955,912	62,502

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△955,912千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、これまでセグメント区分を「バイトルドットコム」「はたらこねっと」「ナースではたらこ」「ジョブエンジン」「その他」としておりましたが、第1四半期累計期間の組織変更に伴い、従来「バイトルドットコム」「はたらこねっと」「ジョブエンジン」「その他」としていた区分を「メディア事業」に統合し、「ナースではたらこ」を「エージェント事業」に変更しております。これに伴い共通経費の配賦についても一部見直しております。

なお、前第3四半期累計期間に開示している金額は、変更後の区分方法により組替えたものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		全社・消去	合計
	メディア事業	エージェント事業		
減損損失	—	—	47,800	47,800

(注)「全社・消去」の金額は、各報告セグメントに配分していない全社資産にかかるものであります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年4月12日開催の取締役会において従業員インセンティブ・プラン「株式付与E S O P信託」の導入を決議しました。当該信託に関する会計処理については、当社とE S O P信託口は一体であるとする会計処理を行っており、E S O P信託口が当第3四半期累計期間において取得した当社株式122,985千円を四半期貸借対照表の自己株式として計上しております。なお、当第3四半期累計期間末における自己株式は495,113千円となっております。